



理念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙** 福井の名所探訪④⑥
Tree Picnic Adventure IKEDA
(ツリーピクニックアドベンチャーいけだ)
- P2** すこやか講座
「排泄に関する悩み」
- P3** 家族は今
「家族で乗り越える」
- P4** THE病棟
畑作業
- P5** デイケアだより
院内行事食
- P6** トピックス
新型コロナワクチン接種
院内研究発表会
- P7** 講演会のご案内
- P8** 研修案内(一般・専門職)
令和3年8月～



排泄に関するお悩み →(○○かもしれない)を考える

認知症ケアの場面で、認知症の方の行動に悩むことはよくあります。

なぜそのような行動をとるのか、行動の理由（背景）から、ご本人のニーズに応えられるよう対応を考えることが大切です。先月の食事編に続き、今月号では、排泄に関するお悩み事例をとりあげて解決策を考えてみたいと思います。

トイレの訴えが多い

- 排泄機能に問題があるかもしれない
- 排泄機能に問題なければ原因はほかにあるかもしれない
- 認知機能の低下により集団活動に取り組めず、不安感から、その場を離れたいたいと思いトイレの訴えにつながっているのかもしれない

トイレに案内しても「違う」と言って入らない

- 声をかけるタイミングが悪いのかもしれない
- 介助者と信頼関係が薄く、排泄介助を受けるのが嫌なのかもしれない
- プライドからトイレ誘導に抵抗があるのかもしれない

パットや紙パンツをトイレに流してしまう

- 汚れたパットをみられるのが嫌なのかもしれない
- ゴミ箱が認識できないのかもしれない
- トイレの環境が悪いのかもしれない

- 排泄機能に問題がないか病院を受診する。
- どのような時間帯にトイレの回数が増えるのか観察し、その時間に手持ちぶさたにならないよう本人が楽しめる趣味や活動を勧めてみる。
- 本人の能力に合った活動を提供する。
- 排泄チェック表を作成し、タイミングに合わせて声かけ誘導する。
- 自尊心に配慮した声かけをおこなう。
- 施設の場合は「こちらへどうぞ」などと声をかけ、周囲の方に気付かれないう配慮する。
- パットが捨てられるようふた付きのゴミ箱を準備する。
- パットをトイレに流さないようにするために「ゴミ箱」と文字で表記したり文字の色やサイズを変えてみる。
- 便座に座った時の視線の位置に「パットはトイレに流さないでください」と書いたポスターを貼る。



パットはトイレに流さないでください！
ゴミ箱へ捨ててください！

「家族で乗り越える」

M・H

厳しく優しい父だったと思います。子供の頃は良くも悪くも昔ながらのお父さんというような感じで、とても怖かった記憶があります。その父が、まさかこんなに早く認知症になってしまうとは思いませんでした。

会社を退職する少し前、最初は物忘れが多くなったのかなという状態と、覇気がなく弱気な発言が目立ってきたという感じでした。大丈夫かな？という思いでしたが、そこから更に症状が進み、何度も同じことを聞いてくるようになりました。病院で検査を受け、そこでは認知症と診断されず「軽い認知症かな？様子をみましょう。」ということでした。

自分もまだ大丈夫なのではないかと良い方向に考えようとしていました。しかし、そこから半年ほどで更に症状は進み、病院を変え、やっと認知症の診断を頂いた時には一人きりで家で過ごすことが難しくなってきました。ケアマネさんとも相談し、通いでリハビリセンターでの運動をすることになりましたが、感情の起伏も激しくなり、施設へ行ってくれると家族は安堵するという状態で、父の状態一つで家族の予定はどんどん変わっていききました。感情がコントロールできず、できないことが増えていき、父も辛かったのだと思います。家族からも笑顔が消え、母もどんどん憔悴している中で父が施設を途中で抜け出したことがあり、通っていた病院よりすこやかシルバー病院さんを紹介していただき、入院という流れになりました。

薬の効果で今は落ち着いていると聞いていますが、やはり今後が不安でいっぱいです。

こちらの準備を待ちますと、ありがたい言葉を頂いており、安堵する部分もあります。今はこれからの生活で父を含めた家族全員がいい方向にいけるよう、自分にできることを探したいと思っています。



The 病棟



畑作業

5月に入り過ごしやすい日が続いています。この日も晴天に恵まれ少し汗ばむ陽気でした。畑作業を行うには最適な日となりました。

畑仕事は
草むしりから

畑の周りは草が生い茂り草むしりだけでも大変でした。

草がいっぱい！
大変だ～



畑を耕した後は、野菜や花をみんなで植えました。

畑を耕し、
いざ苗植え!!



畑にはトウモロコシ(手前)とサツマイモ(奥)を植えました。

収穫の季節が
楽しみです。

花壇に
植えた花



日々草

サンパチェンス



4月 桜の花作り

デイケアだより

デイケアつどいでの活動をご紹介します！

5月 兜飾り作り

なかなか外出が難しいですね。こんな時期だからこそ、皆さまに季節を感じていただきたい。そんな思いから、皆様の力をお借りして、デイルームに桜の花を咲かせました！

花びら（クッキングペーパーの芯など）のなかに白やピンクのお花紙を詰めて個性豊かな桜を作ってくださいました。



5月は兜飾りを作りました。実はこの兜、立体的なんです！折り目やクセをつけて、工夫して制作されていました。

「孫にプレゼントするわ」という方もいらっしゃいました。



栄養管理室からのお知らせ

院内の行事食紹介

令和3年度も、毎日提供している病院食とはひと味違う「豪華な・綺麗な」を目指し、特別メニューにて提供しています

4月

にぎり寿司



今年も、お花見シーズンの楽しいレクリエーションの開催は見送りとなりました。「じゃあ食事で盛り上げよう〜！」ということで、4月は1番人気の握り寿司を提供させていただきました。

5月

ソフト食の充実



形態が限定されるため、変化を出すのが困難なソフト食やミキサー食。5月は、この食種に注目して、色や形、食べやすさを追求しました。よもぎ餅風は、もち米を使用せず喉通りのよいテクスチャー（質感）に仕上げ、全ての患者様に提供させていただきました。

トピックス

新型コロナワクチンの 一般接種を開始しました!



新型コロナワクチンの接種において、医療従事者に引き続き、当院において5月24日から一般の方を対象に接種を開始しました。85歳以上の高齢者の方から始まり、現在は60歳以上の方に接種を行っています。

当初は、1日6人だった人数も現在は24人に枠を増やして、ひとりでも多くの方が接種できるようにしました。

なかなか治まらないコロナ感染症ですが、ワクチンを接種することにより、世の中が以前のように住みやすい環境になることを願っています。



院内研究発表会

昨年、新型コロナ感染症の拡大によって、令和2年度院内研究発表会が延期となり去る6月8日(火)に1年遅れで開催しました。今回は4題の発表があり、とても興味深い内容でした。職員は真剣に聞き入っており、発表後、活発な質疑応答が交わされた後、村田院長の総評がありました。今回の研究の成果を今後の患者様のケアに活かしていきたいと思います。

- 馴染みのある物を活用したアクティビティ提供により入院生活でのQOL向上を促す 西病棟
- 認知症患者に対する苦手意識の改善方法 西病棟
- 栄養関係功労者 厚生労働大臣表彰を受賞して 栄養管理室
- 認知症のケアによりスタッフが受ける心理的ストレスを可視化する 東病棟



福井県立すこやかシルバー病院講演会

認知症の疾患別 治療とケア

日時

令和3年9月4日(土)
14:00～16:00

完全
予約制
入場無料

会場

福井県生活学習館(ユー・アイふくい)
多目的ホール[福井県福井市下六条町14-1]

定員

100名(定員に達し次第受付終了)

講師

大阪大学大学院医学系研究科
精神医学教室 教授

池田 学 氏



内容

- 認知症の診断と治療
- 認知症と間違えやすい状態
- 血管性認知症、アルツハイマー病、レビー小体型認知症、
前頭側頭葉変性症の症状、治療、ケア

《新型コロナウイルス感染防止のための注意事項》 講演会参加の際は以下の項目にご協力ください。

- | | |
|-----------------------------|---|
| ◎体調不良の方は来場をご遠慮ください | ◎換気の実施(服装、掛物、座布団等持参のうえ調整ください) |
| ◎検温実施(37.0℃以上の場合、入場をお断りします) | ◎座席指定制(指定された席をご利用ください) |
| ◎手指消毒実施 | ◎参加者氏名・住所・電話番号の記載 |
| ◎マスク着用(マスクは各自ご持参ください) | ◎介護医療専門職の方は、所属施設の許可がある場合のみ参加可能
(所属施設の許可証等は必要ありません) |

完全予約制です。事前申し込みされた方以外、入場できません。お電話でお申込みください。また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止する場合は連絡しますので、お申し込みの際必ず連絡先をお伝えください。

申込先

福井県立すこやかシルバー病院

〒910-3623 福井市島寺町93-6 TEL.0776-98-2700



【令和3年8月～】

福井県立すこやかシルバー病院 研修案内

注意事項

- 定員以上の受付は致しません
- 体調不良の方は来場をご遠慮ください
- 検温の実施(37.0℃以上の場合、参加はご遠慮ください)
- 手指消毒の実施(入場の際消毒ください)
- マスク着用(各自ご準備ください)
- 換気の実施(服装、掛物、座布団等持参のうえ調整ください)
- 座席指定制(指定された席以外利用できません)
- 参加者氏名・住所・電話番号の記載
- 専門職の方は所属施設の許可がある場合のみ参加可能(所属施設の許可がない場合申し込みはご遠慮ください)

一般の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院(福井市島寺町 93-6) 2階会議室

参加費無料

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症の基礎知識と対応のポイント	8月20日(金)	13時30分～15時	● 認知症の原因疾患、症状について ● 認知症の方への対応のヒント、対応の実例	福井県立すこやかシルバー病院 西村信子看護師	20名
脳を活性化させよう	8月27日(金)	13時30分～14時10分	● 心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 松間香織作業療法士	20名
心も体も元気に健康に ～認知症の理解、予防、支援～	9月17日(金)	13時30分～15時	● 認知症の危険因子や毎日の生活の中で脳を鍛える対策について ● 心と体を元気にする活動、実演 ● 残された機能の維持のために自宅でできる活動などを紹介	福井県立すこやかシルバー病院 奥村明美作業療法士	20名
認知症高齢者の口腔ケア	9月24日(金)	13時30分～15時	● 口腔ケアの重要性について ● 認知症高齢者が口腔ケア時に援助を要する状況について ● 認知症高齢者の方の口腔ケア事例	福井県立すこやかシルバー病院 石丸智佳子副看護師長	20名
認知症に関する制度と専門病院受診方法	10月1日(金)	13時30分～15時	● 介護保険制度の全体像について ● 介護保険サービスの実際の利用方法について ● 認知症専門病院受診について	福井県立すこやかシルバー病院 山田育弥精神保健福祉士	20名
脳を活性化させよう	10月8日(金)	13時30分～14時10分	● 心と体を元気にする活動、実演	福井県立すこやかシルバー病院 大味裕史介護福祉士	20名
認知症の基礎知識と対応のポイント	10月15日(金)	13時30分～15時	● 認知症の原因疾患、症状について ● 認知症の方への対応のヒント、対応の実例	福井県立すこやかシルバー病院 中防千恵看護師	20名
認知症を予防するための基礎知識	10月22日(金)	13時30分～15時	● 認知症の危険因子や脳を鍛える対策 ● 脳を元気にする食事のポイントについて	福井県立すこやかシルバー病院 久世浩江 管理栄養士・認知症予防専門士	20名
認知症の方の症状悪化の原因を考える	10月29日(金)	13時30分～15時	● 認知症の方への対応、原因疾患に合わせたケア、認知症の方の進行に合わせたケア、認知症の方の体調の変化、薬の副作用、過ごし方、環境、悪化する前のきっかけ等	福井県立すこやかシルバー病院 帰山知子看護師長	20名

ケア専門職の方を対象にした研修

研修場所：福井県立すこやかシルバー病院(福井市島寺町 93-6) 2階会議室

参加費無料

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード®	8月18日(水)	14時～15時30分	● ユマニチュード®の哲学(ケアをする人とは何か、人とは何か、第3の誕生) ● ユマニチュード®の技法(見る、話す、触れる、立つ) ● ケア実践のための5つのステップ	富山県立大学 看護学部 教授 岡本恵里氏	30名
優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード®	8月19日(木)	10時～11時30分	● ユマニチュード®の哲学(ケアをする人とは何か、人とは何か、第3の誕生) ● ユマニチュード®の技法(見る、話す、触れる、立つ) ● ケア実践のための5つのステップ	富山県立大学 看護学部 教授 岡本恵里氏	30名
認知症高齢者の転倒予防	8月26日(木)	13時30分～16時30分	● 認知症の症状と転倒に関連する症状 ● 認知症高齢者の転倒の特徴 ● 認知症高齢者の転倒予防のための工夫	金沢医科大学 看護学部 教授 平松知子氏	30名
在宅で生活する認知症高齢者の 家族介護者への支援	9月8日(水)	13時30分～16時30分	● 在宅介護を継続するための介護家族へのアプローチ ● 認知症高齢者介護家族の身体的、精神的負担軽減のための支援	神戸市看護大学 看護学部 准教授 丸尾智実氏	30名
食べなくなった認知症高齢者の 支えかたⅠ (自尊感情をたかめるケア)	9月9日(木)	14時30分～17時30分	● 認知症の原因疾患ごとに食不振の原因を説明、脳の仕組みにも言及する	愛知学院大学 心身科学部 准教授 牧野日和氏	30名
食べなくなった認知症高齢者の 支えかたⅡ (消去法と帰納法)	9月10日(金)	9時30分～12時30分	● 認知症の方の食不振に対するアセスメントと食支援の実践	愛知学院大学 心身科学部 准教授 牧野日和氏	30名

新型コロナウイルス感染症等の影響により、研修、講演会は中止となる場合がございます。

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700